

# おけのこ

四浦半島(津久見市)の河津桜

## 振り返る2020年

### 1月

▶ 連合大分「2020春季生活闘争学習会」、種子法学習会、県議会出现前講座(in 大分高専)、議会運営委員会県外所管事務調査(岡山県・鳥取県)ほか

▶ 県民クラブ県外調査(沖縄県)

謝花沖縄県副知事と日米地位協定の課題を共有。廃校を活用して特色ある教育に取り組む「N高」を訪問。



### 2月

▶ 豊予海峡みらいづくりシンポジウム、大分大学経済学部地域経済研究センターシンポジウム、新型コロナウイルス感染症対策説明会ほか

▶ 第9回夢一輪運動

「暮らしに花を、心に潤いを」をスローガンに、感性を育み、子どもたちの未来に夢を託すプロジェクト。

▶ 大分大学経済学部地域経済研究センターシンポジウム

「地域再生と公共政策」をテーマに開催。分権型地域再生のすすめ、大分市の魅力発信など、パネルディスカッション。母校の後輩も参加するなか、往時を振り返りました。



▶ 関係人口サミットin大分 定住には至らないものの、継続的に特定の地域との関わりを持つ人たちが「関係人口」。地域課題の解決も期待される。

### 3月

▶ 県議会予算特別委員会、県議会農林水産委員会ほか

▶ 第1回定例県議会閉会

\* 3月以降、国の新型コロナウイルス感染症対策本部の要請を受けて以降、様々な行事が中止・延期される異例の事態となりました。

### 4月

▶ 種子条例(仮称)策定準備会、生活総点検活動現地調査、県議会政策検討協議会ほか

▶ 緊急事態宣言が全国に発出

### 5月

▶ 緊急事態宣言が全国で解除、議会運営委員会ほか

▶ 福祉保健生活環境委員会 県内所管事務調査

「新型コロナ」感染症拡大対策のため、初の試みとしてオンライン会議形式で実施。(竹田、佐伯、宇佐、国東、日田と結んで質疑・意見交換)



新しい年の幕開けを迎えました。旧年中に賜りました皆様からの心温まる御支援に心から感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の新年早々から続いていた「コロナ禍」ですが、早急に安全なワクチン供給に目処をつけ、終息に向けた一筋の光を示し、社会経済活動の再活性化を図らなければなりません。また昨年は、七月の豪雨災害で本県も甚大な被害に見舞われました。災害復旧・復興を急ぐとともに、河川流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で治水

## 夜明けとともに 光輝く新たな年に



対策に取り組む「流域治水」を進めなければなりません。

一年遅れとなりましたが、今年はオリンピックイヤーです。開催を危ぶむ声も多くありますが、昨年の体操国際競技大会の閉会式で、内村航平選手はこう語りかけました。「(五輪開催が)『できない』じゃなくて、『どうやったらできるか』をみんなで考えてほしい」。

私も決して「できない」と諦めることなく、希望ある明日、そして活力ある大分づくりのため全力で頑張らねばと心新たに決意いたします。

本年は「丑年」です。「これから発展する前触れ(芽が出る)」の年と言われるとおり、必ず夜明け(脱コロナ)は訪れると信じています。

結びに、新年が皆様にとつて素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

二〇二一年 元旦



## 大分に宇宙港が誕生



大分空港

大分県は、アジア初となる「水平型打ち上げ方式(※)」を行うスペースポート(宇宙港)を、大分空港に誘致することに成功しました。スペースポートから人工衛星の打ち上げを行うのは、アメリカの「ヴァージン・オービット社」で、早ければ来年には第一号の打ち上げを予定しています。スペースポートの設置に伴い、打ち上げの際には、多数の海外スタッフが大分に長期間滞在することに加え、打ち上げの見学に国内外からの



Credit:Virgin Orbit/Greg Robinson.

観光客も多く訪れることとなります。また、人工衛星や打ち上げ機器に必要な機材は、地元で調達するものも多くあるとのことで、地元産業の活性化も期待されます。

### 大分から宇宙旅行も

NASAは、二〇二四年に有人月面着陸、二〇二八年までに月面基地の建設を開始する「アルテミス計画」を進めています。また、年内にはアメリカで「宇宙旅行」も始まるそうで、将来的には大分のスペースポートから宇宙旅行に行けることになるかもしれません。

### 拡大する宇宙ビジネス

昨年末は「はやぶさ2」の再びの快挙に歓喜が湧いたところですが、宇宙ビジネスは勢いを増しています。これまで人類が打ち上げた人工衛星の数は約九六〇〇基と言われていますが、アメリカのスペースX社は、大量の小型衛星を利用した高速インターネット網の整備をめざし、今後数年間で数万基の小型衛星を打ち上げると見込まれます。



※水平型打ち上げ方式：航空機に人工衛星を装着したロケットを吊り下げ、空港から離陸。高度1万Mでロケットを切り離し、宇宙まで人工衛星を運びます。

